

2020年度

ESG報告書

② 東邦亞鉛株式会社

TOHO ZINC CO., LTD.

2020年度

ESG 報告書

東邦亜鉛株式会社

INDEX

01 | トップメッセージ

02 | 組織の変更

03 | 経営理念

04 | 東邦亜鉛グループ行動指針

05 | 企業統治体制の概要

06 | 会社概要

07 | 事業内容

08 | 業績ハイライト

09 | 主な製品の生産量

10 | 環境宣言

11 | 管理体制

12 | 産業廃棄物処分業許可証の保有

13 | 鉱山管理

14 | PRTR

15 | SOx排出量

16 | 環境保全コスト

17 | 公害防止管理者数

18 | 地球温暖化防止 への取り組み

19 | 省エネ への取り組み

20 | 安全・衛生 への取り組み

21 | 教育訓練など への取り組み

22 | 地域社会 への取り組み

01 | トップメッセージ

はじめに、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、闘病中の皆様には心よりお見舞い申し上げます。また、医療従事者をはじめ、感染拡大防止に尽力されている多くの方々に深く感謝申し上げます。

さて、9月10日、当社は過去に安中製錬所から路盤材向けに出荷した非鉄スラグにつきまして、群馬県より廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき安中製錬所の産業廃棄物処理施設の使用停止90日間及び、産業廃棄物処分業及び特別管理産業廃棄物処分業停止90日間という行政処分を受けました。(詳細は2020年9月10日掲載分の当社ホームページ「当社に対する行政処分について」をご覧ください。)

地域住民の皆様や株主の皆様、取引先企業の皆様等、関係者各位に多大なるご心配とご迷惑をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。

当該非鉄スラグについては2016年4月より路盤材向け出荷を完全に停止しており、現在、住民の皆様の安全・安心を最優先に、使用が判明した箇所について、回収・撤去等を実施しております。

また本社に品質保証室を新設し、全社の品質保証体制を強化するとともに、環境・安全室を独立させ、全社の環境管理体制および環境に係るガバナンス体制を強化し、二度と同種同根の事案を起こさぬよう再発防止に取り組んでいます。



01 | トップメッセージ

当社グループでは、2018年度から2020年度までの第11次中期経営計画を遂行中ではありますが、金属相場の下落等で製錬・資源事業において大きな損失を計上し、2期連続赤字となりました。中期経営計画の最終年度となる2020年度は、世界的なコロナウイルス感染拡大の影響はありますが、黒字必達に向けあらゆる努力を続けているところでもあります。

こうした中、当社グループの環境・安全への対応につきましては、環境面では資源・製錬・環境リサイクル・電子部材等、すべての事業活動において環境負荷の低減を念頭に置き、技術革新・省エネへの意識を高め日々改善に取り組んでおります。また、安全面では日々安全・安定操業に努め、社員一人ひとりが安心して働けるよう職場環境を整備し、教育訓練を継続実施しております。

当社グループは、地球温暖化対策及び資源循環型社会への貢献に向けて今後も弛まぬ努力を続け、地域社会にとって存在価値のある会社を目指してまいります。

東邦亜鉛株式会社
代表取締役社長

丸 崎 公 康

02 組織の変更

旧体制 (2020年2月まで)



新体制 (2020年3月以降)



2020年3月に業務執行部門から独立した社長直轄の専門部署として「品質保証室」、「環境・安全室」を設置し、品質保証体制を強化するとともに、環境安全に対する意識の向上に取り組んでおります。

- ① “顧客”を満足させる良質の製品・サービスを提供する。
- ② “株主”の期待に応える業績をあげ、企業価値の増大を図る。
- ③ “従業員”の生活を向上させ、働き甲斐のある会社にする。
- ④ “地域”の一員として認められ、存在価値のある会社を目指す。

当社は以上をモットーに適性かつ最大の収益を目指して揺るぎない企業活動を遂行することにより、当社に関係するすべての人々の利益の増進と企業の発展・向上を図り、もって社会に貢献いたします。

東邦亜鉛グループが良き企業市民として存在し行動していくために、役員・社員一人ひとりが自覚し遵守すべき行動指針です。

なお、この行動指針は携帯カードにして各社員に配布しております。

1. 法令等の遵守

東邦亜鉛グループは、国内外全ての法律、国際ルールおよびその精神を遵守するとともに、社会的良識をもって公正、透明、自由な競争のもと誠実に事業活動を行い、また、政治・行政との健全かつ正常な関係を保ちます。

2. 持続可能な経済成長と社会的課題の解決

東邦亜鉛グループは、多様化・複雑化・高度化する顧客のニーズに応えるとともに、省エネルギー・省資源・環境保全にも十分配慮し、安全かつ有用な製品・サービスを提供し、持続可能な経済成長と社会的課題の解決を図り、顧客や社会からの信頼の獲得に努めます。

3. 企業情報の適正な開示

東邦亜鉛グループは、社会から信頼される開かれた企業として、株主はもとより、広く社会とのコミュニケーションを図り、正確な企業情報を積極的、効果的かつ公正に開示し、誠実かつ建設的な対話をすることで、企業価値の向上に努めます。

4. 環境問題への積極的な取り組み

東邦亜鉛グループは、環境問題への取り組みが企業の存立と活動に必須の要件であることを認識し、資源循環型事業の継続的な推進等、二酸化炭素の排出削減や生物多様性に配慮した環境改善の活動に自主的かつ積極的に取り組みます。

5. 人権の尊重と社会発展への貢献

東邦亜鉛グループは、すべての人々の人権を尊重し、社会との十分な連携と協調を図り、「良き企業市民」として積極的に社会に参画し、その発展に貢献するよう努めます。

6. 働きがいのある職場作り

東邦亜鉛グループは、仕事と生活の調和に配慮して従業員のゆとりと豊かさを実現し、健康かつ安全で働きやすい職場環境を確保するとともに、従業員の能力を高め、その多様性・人格・個性を最大限に尊重する働き方を実現します。

7. 危機管理体制の構築

東邦亜鉛グループは、市民生活や企業活動に脅威を与える反社会的勢力の行動やテロ、サイバー攻撃、自然災害等に備え、組織的な危機管理体制を構築し、その維持・改善に努めます。

8. 国際社会との協調

東邦亜鉛グループは、国際社会に通用する高い倫理観を備え、人種、信条、宗教、性別等による差別をせず、海外の文化および慣習を尊重し、相互信頼を基盤とした事業活動により国内外の経済・社会の発展に貢献する経営を行います。

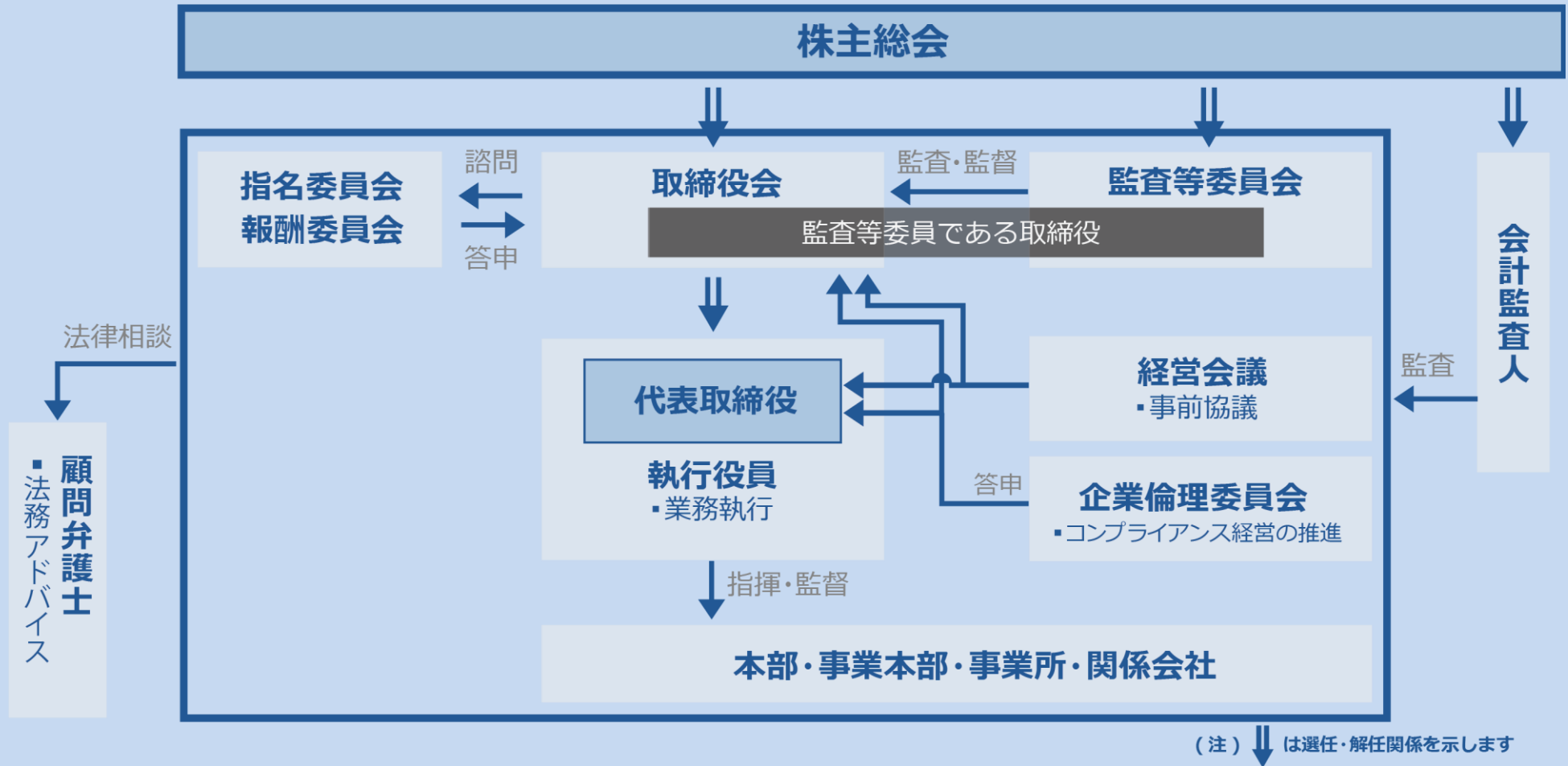
9. コンプライアンスの推進

東邦亜鉛グループは、本「東邦亜鉛グループ行動指針」（以下、「本指針」という。）を全関係者に周知徹底し自覚を促すとともに、ヘルプライン（※）等を通じて社内外の意見・情報の常時把握に努め、企業倫理のさらなる徹底を図ります。

※当社及びグループ会社の社員等からの内部通報の受け皿として、社内及び社外(弁護士事務所)にヘルプラインを設置しております。

10. 本指針の徹底と経営者の役割

東邦亜鉛グループの経営者は、本指針の精神の実現および実効あるガバナンスの構築に努めます。また、東邦亜鉛グループに本指針の精神の周知徹底を図り、これに基づく行動を促します。万一、社会からの信頼を失うような事態が発生したときには、経営者が率先して問題解決にあたり、原因究明・再発防止等に努め、その責任を果たします。



06 会社概要

設立 1937年3月5日
資本金 146億円
代表者 代表取締役社長
丸崎 公康
従業員 連結：1,105名
単独：701名
2020年3月31日現在

本社 〒100-8207
東京都千代田区
丸の内一丁目8番2号
鉄鋼ビル
TEL: 03-6212-1711 (代表)



拠点一覧



重要な子会社の状況

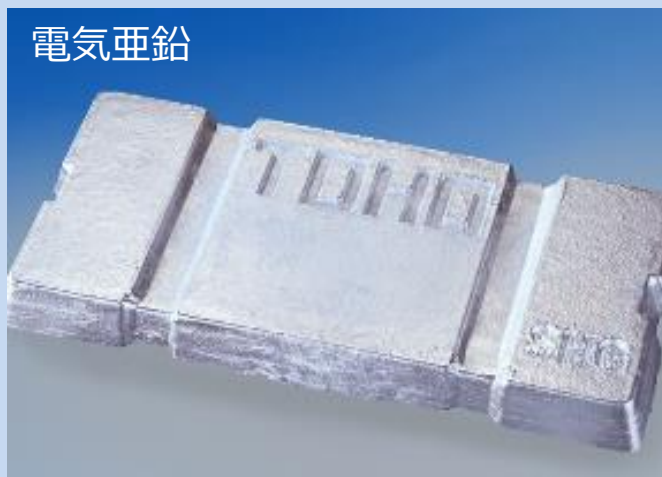
会社名	所在地	資本金	当社の議決権比率 (%)	主要な事業内容
(株)ティーディーイー	東京都中央区	100百万円	100	土木・プラント エンジニアリング業
安中運輸(株)	群馬県安中市	20百万円	100	運輸業
契島運輸(株)	広島県豊田郡	30百万円	100	運輸業
東邦キャリア(株)	福島県いわき市	10百万円	100	運輸業
(株)中国環境分析センター	広島県竹原市	10百万円	100	環境分析業
CBH Resources Ltd.	オーストラリア ニューサウスウェールズ州	480百万豪ドル	100	鉱山業

07 事業内容

- ・製錬事業
- ・資源事業
- ・電子部材事業
- ・環境・リサイクル事業
- ・ソフトカーブ事業

主要製品

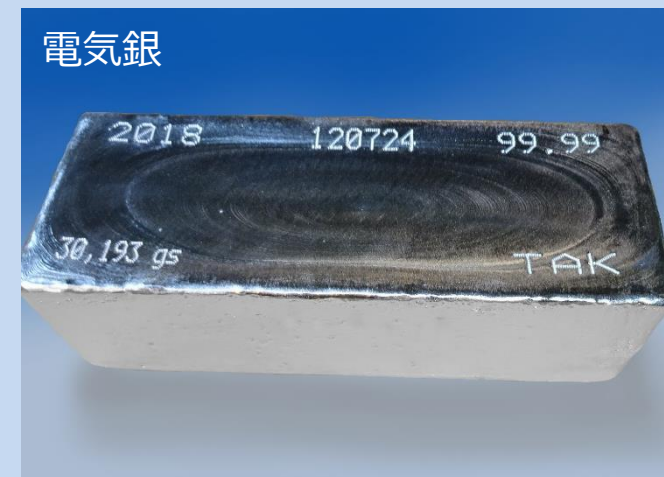
電気亜鉛



電気鉛



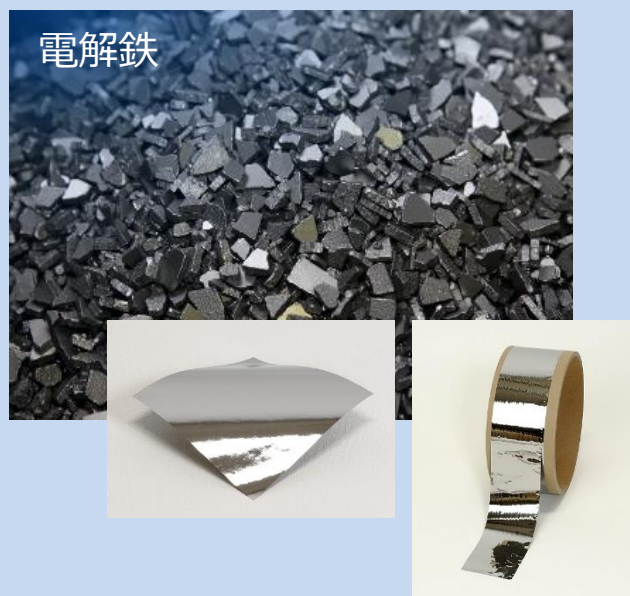
電気銀



酸化亜鉛



電解鉄



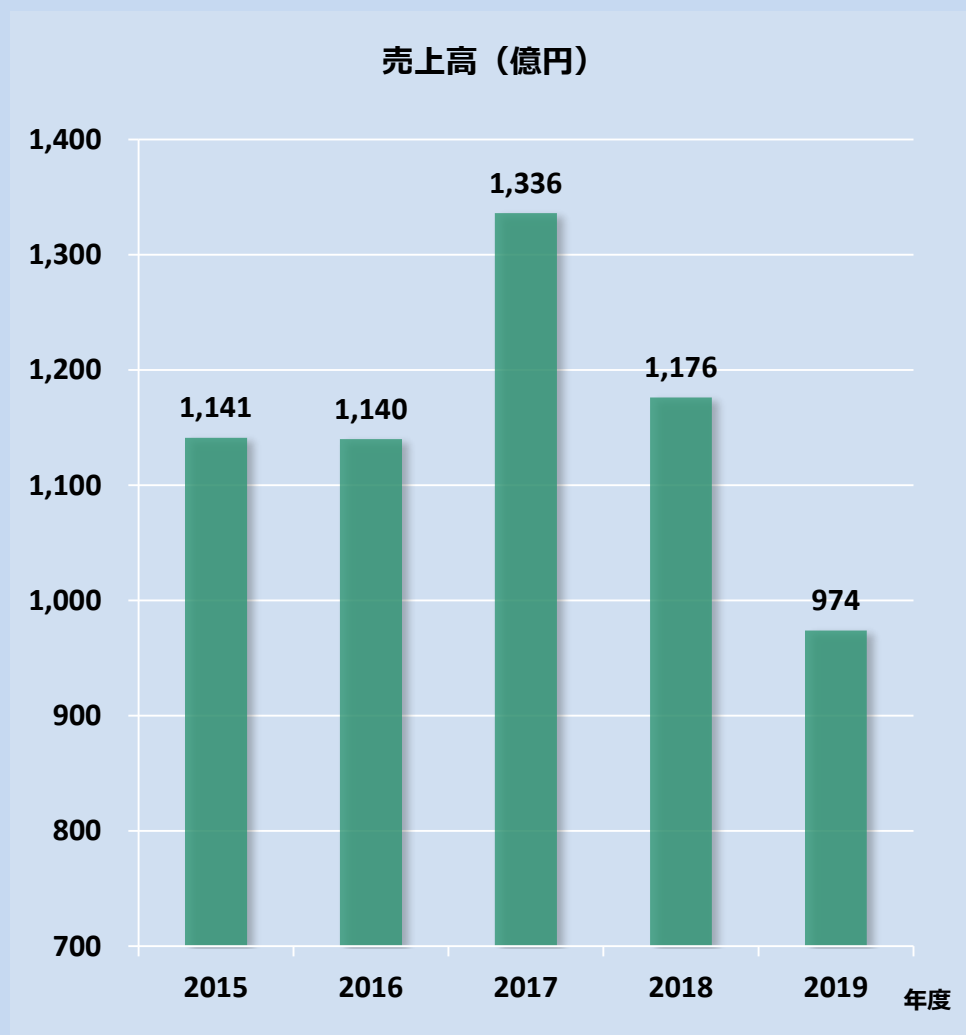
電子部品



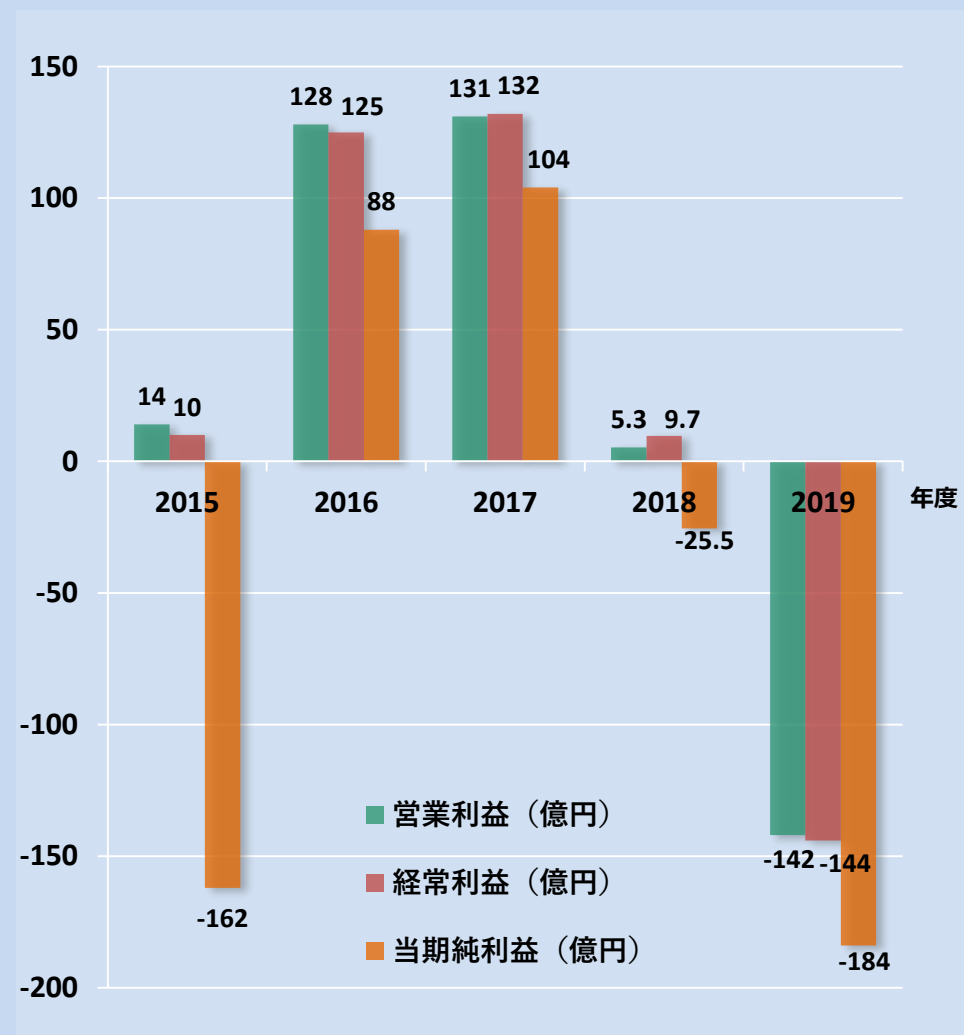
08 業績ハイライト

2020年3月期 / 2019年4月1日～2020年3月31日

1 連結売上高 (億円)



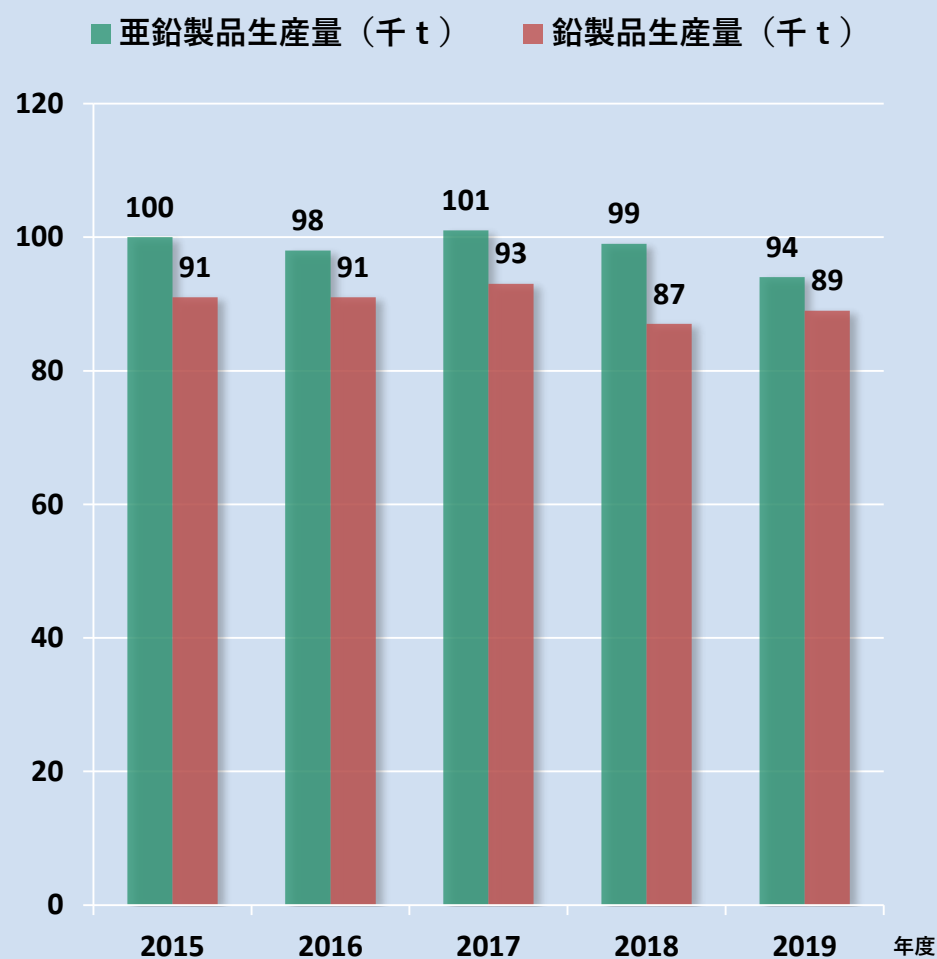
2 連結利益 (億円)



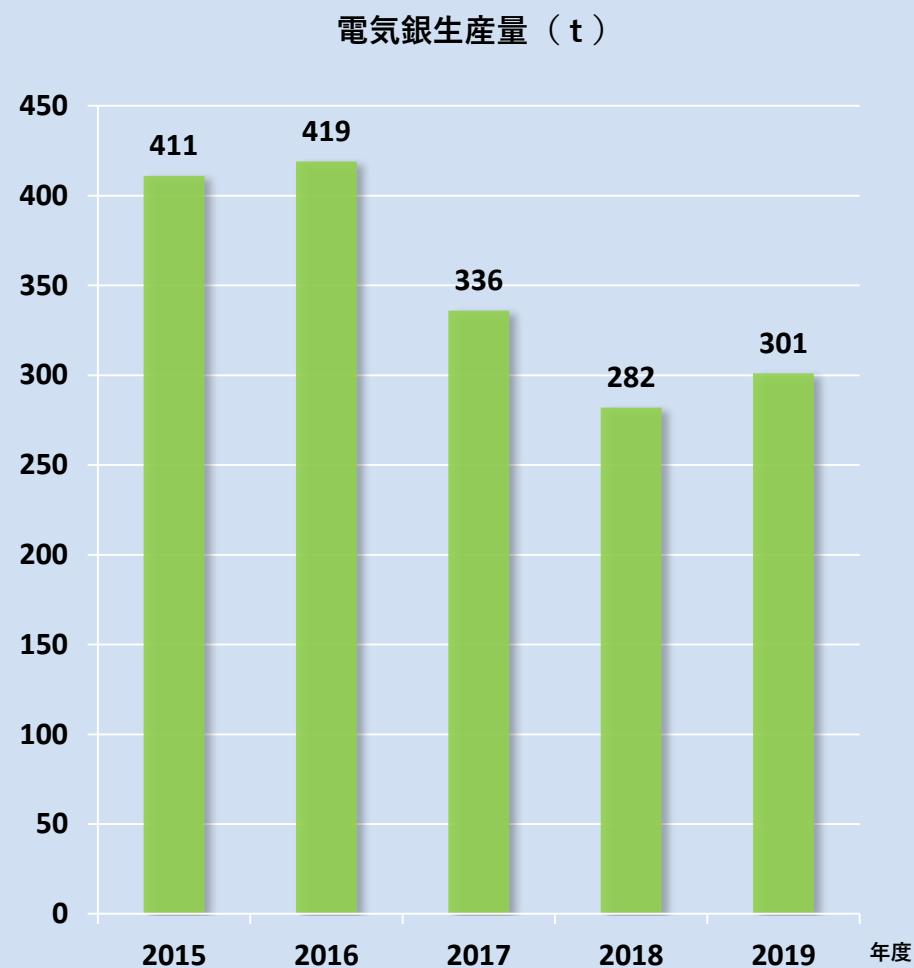
09 主な製品の生産量

2020年3月期 / 2019年4月1日～2020年3月31日

1 亜鉛製品生産量 (千t) 鉛製品生産量 (千t)



2 電気銀生産量 (t)



環境理念

東邦亜鉛グループは、地球環境保全への取り組みを重要な経営課題として捉え、責任ある企業市民として将来にわたって住みよい社会を形成するために地域社会と良好なコミュニケーションを保ち、環境負荷低減、地球温暖化防止、および生物多様性の保全等の環境改善活動に取り組みます。

環境方針

1. 環境マネジメントシステムを運用して、環境目的、目標を定め、さらに定期的見直しによって継続的な環境保全に努めます。
2. 環境関連法規に加え自主管理基準を遵守し、環境汚染の防止を図ります。
3. 事業活動が地域社会に及ぼす影響を認識し、全従業員の環境保全意識向上のために、労使ともに相互信頼と責任を持って、環境教育、啓蒙活動を行います。
4. 限りある資源の有効利用と環境負荷低減、地球温暖化防止、および生物多様性の保全に努めます。
5. この環境方針を東邦亜鉛グループ全従業員に周知するとともに、一般にも公開します。

11 管理体制

環境管理推進体制

当社は環境保全を経営課題の一つと捉え、環境問題の発生防止と万が一の際の迅速な対応を図るため「環境管理委員会」を設置しております。

また、各事業所には「環境委員会」や「環境保安会議」を設置し、全社一丸となった環境管理推進体制を構築しております。

環境監査

事業所名	認証機関	登録証番号	登録日	関連会社
安中製錬所	日本化学キューエイ株式会社	JCQA-E-0335	2001年12月25日	子会社： 安中運輸(株)
契島製錬所	日本化学キューエイ株式会社	JCQA-E-0276	2001年7月23日	
小名浜製錬所	社団法人 日本能率協会	JMAQA-E-246	2001年11月9日	子会社： 東邦キャリア(株)
藤岡事業所	日本化学キューエイ株式会社	JCQA-E-0316	2001年11月26日	

環境管理委員会

- ・ 委員長： 社長
- ・ 委員： 取締役 / 執行役員
- ・ 事務局： 環境・安全室
- ・ 審議事項： 全社的環境問題の検討

環境委員会

- ・ 委員長： 所長
- ・ 委員： 関係部課長
必要に応じて本社 環境・安全室
- ・ 事務局： 環境管理課(室)
- ・ 審議事項： 個別案件の検討
長期的・抜本的な環境問題の検討
関係法令に基づく手続き審議

環境保安会議

- ・ 議長： 所長
- ・ 委員： ライン管理職全員
- ・ 事務局： 環境管理部課(室)
- ・ 審議事項： 本社環境管理委員会報告
ISO 14001 関係審議
関係法令制定・改正の報告と解釈

当社は産業廃棄物処分事業を適切に行うため、各事業所で産業廃棄物処分業許可証及び特別管理産業廃棄物(爆発性、毒性、感染性その他の人の健康又は生活環境に係る被害を生ずるおそれがある性状を有する廃棄物)処分

業許可証を保有しており定期的に更新しています。
(安中製錬所は、群馬県より産業廃棄物処理の90日間の事業停止処分を受けました。期間:2020年9月11日から2020年12月9日まで)

1 産業廃棄物処理の業の許可

	安中	小名浜	契島	東邦キャリア
種類	廃酸、汚泥、廃油、 廃プラスチック類、 ばいじん、木くず、 金属くず	汚泥、ばいじん、鉍さい、 廃プラスチック類(廃ニカド 電池に限る)、金属くず(廃 ニカド電池に限る)	廃酸、燃え殻、 コンクリートくず、 廃プラスチック類、 金属くず、ばいじん、汚泥、 ガラスくず、陶磁器くず	廃プラスチック類(廃鉛蓄電 池に限る)、金属くず(廃鉛 蓄電池に限る)

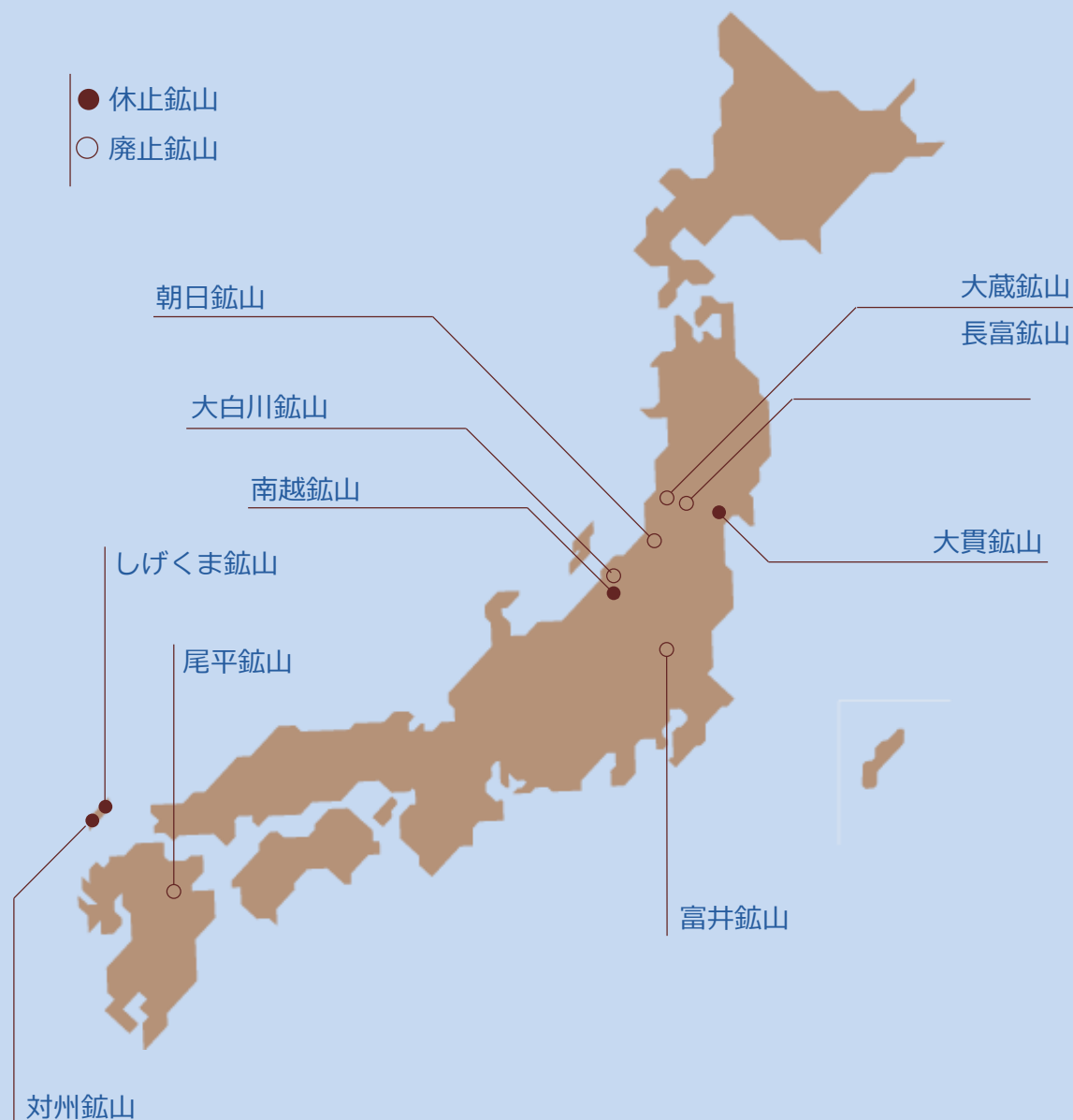
2 特別管理産業廃棄物処理の業の許可

	安中	小名浜	契島	東邦キャリア
種類	廃酸・腐食性、 廃油・揮発性油等、 ばいじん、汚泥	汚泥、鉍さい、ばいじん 廃アルカリ(廃ニカド電池に 含まれているものに限る)	廃酸、鉍滓、燃え殻、 汚泥、ばいじん	廃酸(廃鉛蓄電池に含まれて いるものに限る)

13 鉱山管理

1 国内の鉱山管理

当社は国内10か所に休廃止鉱山（現在、採掘を中止している鉱山）を保有しており、坑水（坑口から湧き出る水）、廃水（集積場の浸透水）、捨石・スライム集積場の管理をしています。坑廃水は酸性で重金属を含んでいることが多いため、定期的に採水し、水質を分析しています。坑廃水が重金属を含んでいて、そのまま河川へ放流できない場合は、坑廃水処理施設を設置し、排水基準を満たすまで水質を改善させてから、河川へ放流しています。また、捨石・スライムの集積場は覆土や植栽をして、風による捨石の飛散を防止するほか、大雨によって集積物が流出しないように山腹水路や非常用排水路を設けています。



豪州CBH社ラズプ鉱山のESGの取り組み

1. 環境への取り組み

ラズプ鉱山では、鉱山サイトの表土の風食、車両の走行や鉱石の積み下ろし作業等から発生する粉塵の飛散を粉塵防止剤や水の散布、道路の舗装により抑制して近隣住居への影響を低減しています。

これまで鉱山サイトの未舗装道路におきましては、散水車からの散水により粉塵の飛散を抑制しておりましたが、2019年より「DUSTBINDER」と呼ばれる走行エリア用

の粉塵防止剤を試験的に散布してその効果を確認中です。また、今年2020年には尾鉱ダムでの適用試験も行う予定です。これは将来的に尾鉱ダムの風食による粉塵の飛散をスプリンクラー散水からDUSTBINDER散布で代替できないかの可能性を探るものです。

将来的にはDUSTBINDERを未舗装道路や尾鉱ダムに使用することで散水量の2割削減を図るとともに、散水車の稼働減により、その燃料使用量についてもおよそ2割削減できると期待しています。

* DUSTBINDERは、地表表面のダスト同士を結合させてスラリーコーティングを形成して粉塵粒子を閉じ込める粉塵防止剤。



豪州CBH社ラズプ鉱山のESGの取り組み

2. 地域社会

1) 地域社会活動への参加

ラズプ鉱山では毎年ブロークンヒル市でコミュニティヘルスセンターが主催する、地域住民の方に鉛の健康影響とその予防策について意識を高めてもらうことを目的としたLead Week Programに参加しています。

鉛の摂取予防の一つである健康的な食事と栄養の摂取の観点からLeadSmartグループが提供している健康的な食事に関するパンフレット、また果物や植物の苗等を参加者の方々に提供して啓蒙活動に取り組んでいます。

* LeadSmartグループとは、ブロークンヒル市のコミュニティヘルスセンターやニューサウスウェールズ州の環境保護局や保健局の共同イニシアチブ。



2) 地域コミュニティグループへの財政支援

ラズプ鉱山では、毎年、学校やRoyal Flying Doctor Service、Broken Hill Cancer Councilなどの地域活動に対して財政支援を行っております。

* Royal Flying Doctor Serviceとは、地方都市や内陸部など医療施設が充実していない地域で航空機を活用した緊急医療サービス

* Broken Hill Cancer Councilとは、ブロークンヒル市のがん予防・治療推進団体。



地域社会活動Lead Week Programへの参加の様子

PRTR対象物質の排出・移動量

PRTR法（化学物質排出移動量届出制度）に基づき、各事業所における化学物質の排出量及び移動量を集計し、年に1回行政機関へ届出を行っています。製造工程で発生する有害な化学物質については適正な処理を

行った後、濃度を分析し、安全を確認してから工場外へ排出しています。

各事業所では、排出される化学物質量の削減に取り組んでまいります。

単位：t

	大気への排出		公共水域への排出		埋立処分		廃棄物移動	
	2018年度	2019年度	2018年度	2019年度	2018年度	2019年度	2018年度	2019年度
亜鉛の水溶性化合物	0	0	1	1	0	0	0	0
鉛化合物	0	0	0	0	1,000	1,100	184	303
カドミウム及び化合物	0	0	0	0	2	1	2	2
砒素及び無機化合物	0	0	0	0	110	97	160	221
銅水溶性塩	0	0	0	0	0	0	0	0
アンチモン及び化合物	0	0	0	0	140	120	0	0
ニッケル化合物	0	0	0	0	0	0	1	1
コバルト及び化合物	0	0	0	0	0	0	0	0
水銀及び化合物	0	0	0	0	0	0	0	0
セレン及び化合物	0	0	0	0	0	0	0	0
ふっ化水素及び水溶性塩	0	0	6	7	0	0	0	0
ほう素化合物	0	0	2	1	0	0	1	1
マンガン及び化合物	0	0	0	0	530	330	750	1,400
トルエン	1	1	0	0	0	0	0	0
キシレン	0	0	0	0	0	0	0	0
エチルベンゼン	0	0	0	0	0	0	0	0
メチルナフタレン	0	0	0	0	0	0	0	0

単位：mg-TEQ

ダイオキシン類	178	82	2	2	0	0	10	5
---------	-----	----	---	---	---	---	----	---

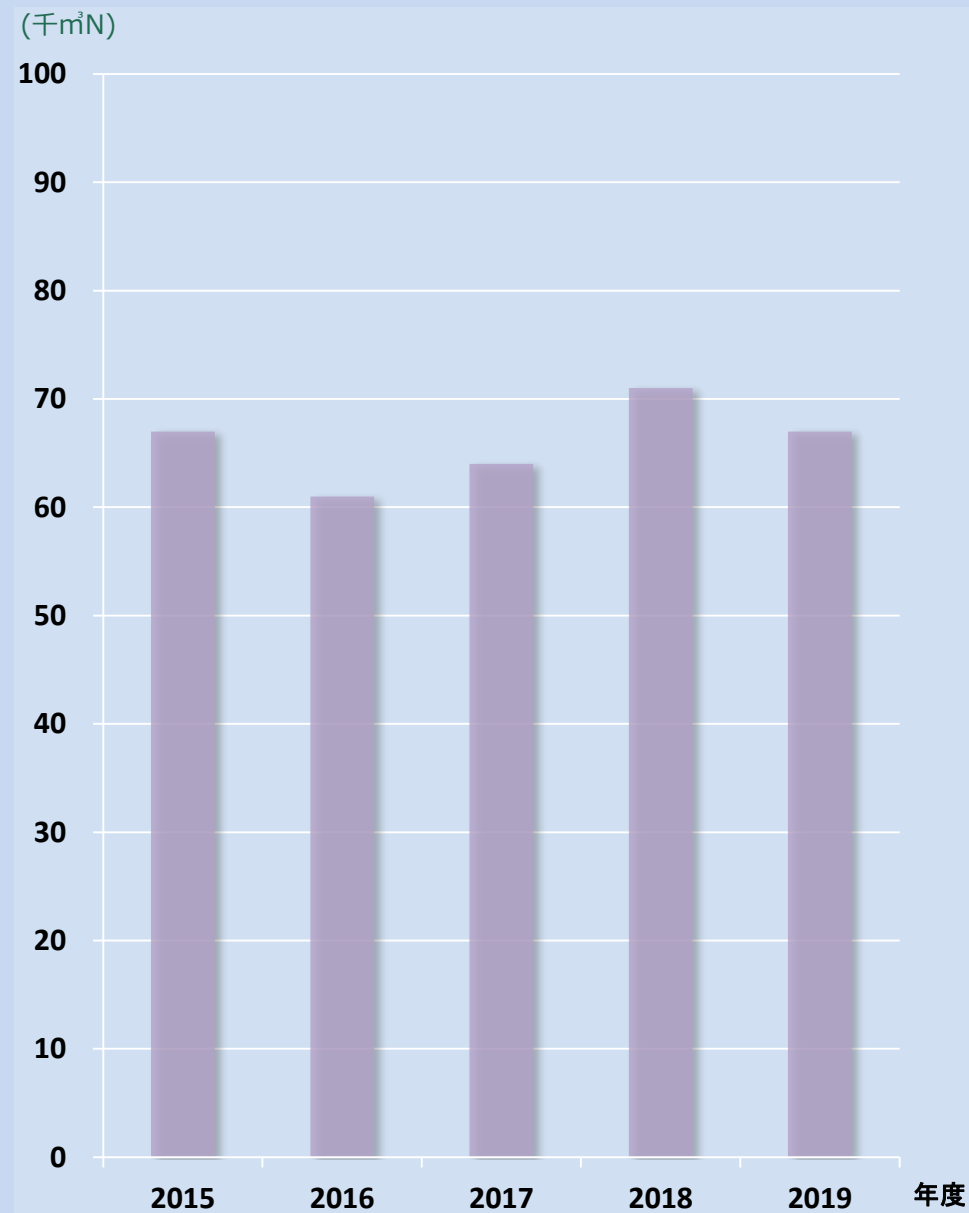
15 SOx 排出量

硫黄酸化物 (SOx) は二酸化硫黄 (SO₂) や三酸化硫黄 (SO₃) など大気汚染物質であり、排出量の低減が求められています。当社の事業活動において発生するSOxは、硫酸・脱硫設備を介して最終的に硫酸 (H₂SO₄) や石膏 (CaSO₄・2H₂O) として回収しています。

2019年度のSOx排出量は原料事情により、前年比4千m³N減の67千m³Nとなりました。排出量は鉱石中に含まれる硫黄量等により増減しますが、SOxの発生する設備では漏れ等がないように点検・管理を徹底し、周辺環境の改善を図っていきます。



小名浜製錬所
102m高煙突

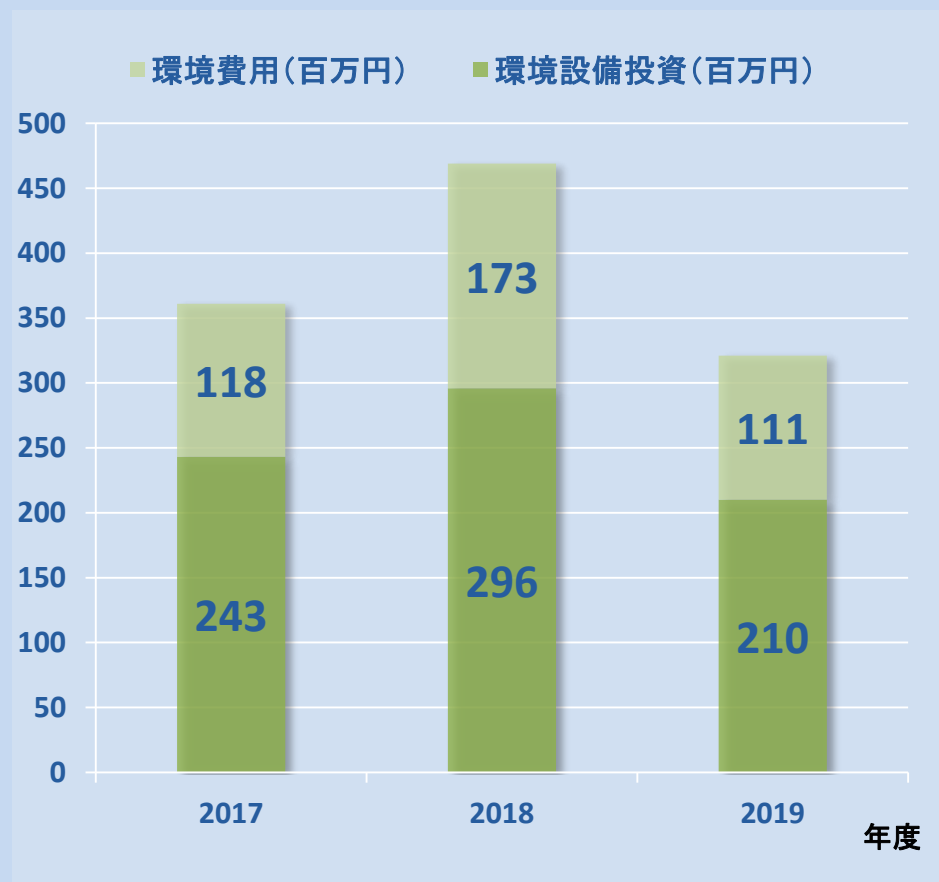


16 環境保全コスト

環境保全効果の評価に活用

当社では事業活動を営むにあたって、環境負荷を低減するための設備投資額と費用を計上し、環境保全効果の評価に活用しています。投資は公害防止設備の能力向上や作業環境の改善、費用は各製錬所等で発生する

廃棄物の処理費等です。2019年度の設備投資額は210百万円、環境費用は111百万円となりました。今後も環境保全に必要な設備には投資を行っていきます。



17 公害防止管理者数

大気・水質などの有資格者は延べ215人に

当社では、従業員の環境配慮に対する意識向上と公害防止に関する幅広い知識を習得する目的で「公害防止管理者」国家資格の取得に力を入れています。2020

年3月現在、安中製錬所、契島製錬所、小名浜製錬所、藤岡事業所、本社を合わせた公害防止管理者数は延べ215人となっています。

2020年3月31日 現在 / 単位：人

	保有資格					
	大気1種	水質1種	騒音・振動	騒音	振動	ダイオキシン
安中製錬所	24	25	8	0	1	22
契島製錬所	14	19	3	0	0	10
小名浜製錬所	9	8	1	1	1	15
藤岡事業所	5	9	1	1	0	3
本社	11	13	4	0	0	7
合計	63	74	17	2	2	57

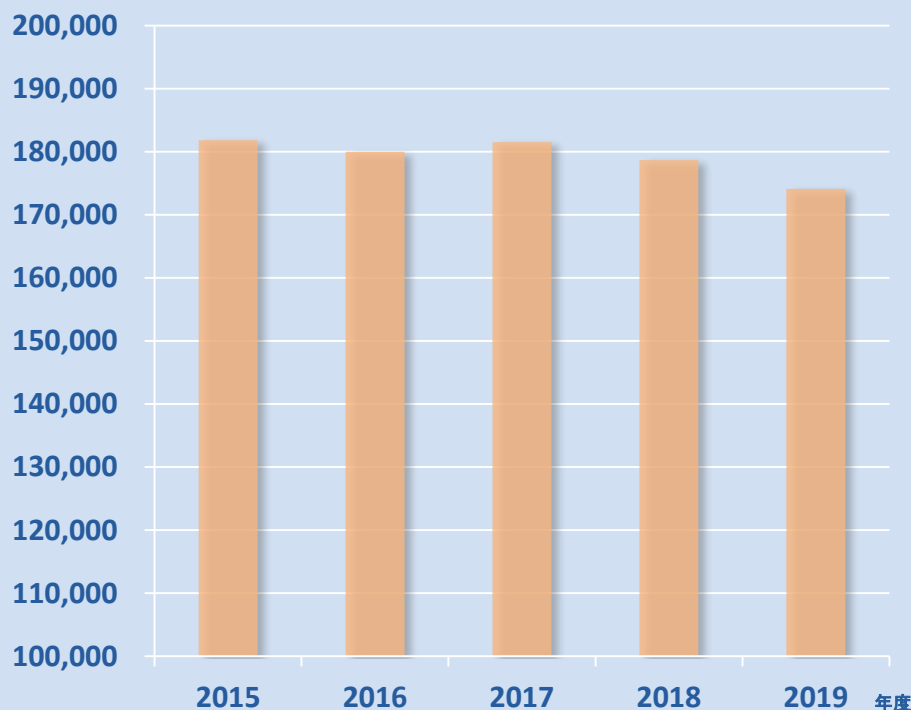
総合計
215

当社では、主要製品の生産におけるエネルギー使用量と原単位を算出し、電気・燃料（重油等）・CO₂排出量の削減に取り組んでいます。2019年度はエネルギー

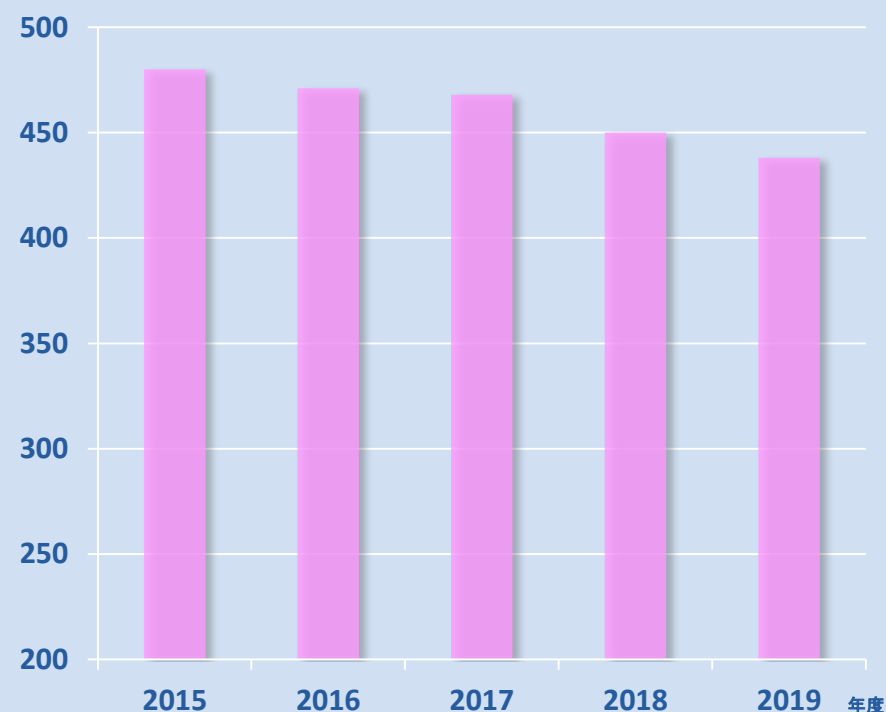
使用量（重油換算）が前年度比約4,600kl減少しました。CO₂排出量は電力各社のCO₂換算係数が改善された影響で、前年度より約12千t 減少しました。

エネルギー使用量・原単位/CO₂排出量の推移

エネルギー使用量 (原油換算kl)



CO₂ 排出量 (千t)



19 省エネへの取り組み

1 エネルギー使用の合理化

「燃料」・「熱」・「電気」のエネルギー使用量を削減する
為に、エネルギー使用の合理化に取り組んでいます。

各事業所においては、高効率又は省エネ効果のある機
器を積極的に採用し、製造工程に取り入れています。

	2019年度	2020-2022年度 / 計画
安中製錬所	・ 冷却塔を効率化し送風機電力を削減	・ 亜鉛製錬 浸出残渣処理方法の改善
契島製錬所	・ 照明のLED化	・ 電解鑄造バーナー温調制御化
小名浜製錬所	・ 受電用変圧器更新による使用電力削減	・ 高効率ポンプ導入による省エネ
藤岡事業所	・ 高効率ボイラーの導入、送風機の高効率化更新	・ 照明のLED化、高効率ボイラーの導入

- ▶ 全事業所
- ・ 高効率照明への計画変更、夜間照明度調査
 - ・ エアコン温度の適性管理
 - ・ 昼休みの消灯、帰宅時の事務機器電源切り
 - ・ 配管ラインの漏れ有無定期点検と早期対処
 - ・ 低圧モーターの負荷率調査

当社では事業活動で使用する燃料などのエネルギー使用量や水資源の使用量を定量的に把握し、環境負荷の低減に努めています。エネルギーは燃料別に目標原単位を定めて使用量を抑制し、水資源は上水道、工業用水、

地下水、海水の4種類に分類し、それぞれ利用方法の最適化に取り組み、節水を心がけています。

		2017年度	2018年度	2019年度
安中製錬所 契島製錬所 小名浜製錬所 藤岡事業所	ガソリン (kl)	25	26	26
	灯油 (kl)	2,200	2,014	2,175
	軽油 (kl)	162	162	180
	重油類 (kl)	10,742	10,383	11,107
	LPGガス (千m ³)	33	30	28
	上水道 (千m ³)	440	394	410
	工業用水 (千m ³)	8,213	7,492	7,662
	地下水 (千m ³)	313	321	361
	海水 (千m ³)	17,599	16,733	15,871

東邦亜鉛グループでは、社員一人ひとりが安全で快適な職場環境のもと安心して職場活動が出来るよう以下の「東邦亜鉛グループ安全・衛生管理 3カ年計画

(2018~2020年度)」を策定し、事業所毎に安全・衛生活動に取り組んでいます。

基本方針

安全は全てに優先 / 我が社経営の基本

目標

安全先取り活動の継続による災害の防止
基本ルールの順守による繰り返し災害の防止
設備管理による作業環境の維持・改善

スローガン

高めよう 一人ひとりの安全意識 進めよう 心とからだの健康職場

全社重点実施項目

安全

- 教育・訓練の強化 (安全教育資料の整備と共有)
- リスクアセスメントの励行 (SDSデータベースの活用 / 整備対策の情報共有・本質安全化)

衛生

- 各種健康診断の完全実施と結果のフォロー (産業医との連携)
- 受動喫煙防止活動の推進

作業環境

- 設備管理による作業環境の維持・改善
- 発生源対策による作業環境の改善

中央安全衛生委員会

- ・委員長 : 社長
- ・委員 : 安全衛生関連役員、
労働組合執行委員
- ・事務局 : 環境・安全室
- ・審議事項 : 全社安全衛生活動関係審議



安全衛生委員会

- ・委員長 : 社長
- ・委員 : 取締役/執行委員
- ・事務局 : 環境・安全室
- ・審議事項 : 全社的安全衛生問題の検討



各場所安全衛生委員会

- ・委員長 : 所長(統括安全衛生管理者)
- ・委員 : 管理職(衛生管理者、安全管理者)、
協力会社社長、労働組合執行委員、
産業医
- ・事務局 : 総務課
- ・審議事項 : 場所安全衛生活動審議



中央安全衛生委員会/ 本社

協力会社安全衛生協議会

専門部会

安全衛生推進会議



職場安全衛生会議

災害ゼロを目標に労使一体となり、安全会議や安全講習会、工場パトロールなどの安全活動に取り組んでいます。

しかし、ここ数年は年間10件程度の災害が発生しており、2019年度の休業災害は1件、不休災害は14件発生しました。

休業：
療養を必要とする災害

不休：
治療後、休まず職場復帰できる軽度の災害



職場リーダー安全研修会/本社



安全パトロール/契島製錬所

2015	休業災害	6件
	不休災害	7件
2016	休業災害	4件
	不休災害	5件
2017	休業災害	2件
	不休災害	5件
2018	休業災害	1件
	不休災害	9件
2019	休業災害	1件
	不休災害	14件

従業員一人ひとりの安全に対する意識向上の為に年間を通じて安全活動を行っています。製造現場では日々の作業前に設備に不備がないかを点検しているほか、

定期的にリスクアセスメントを実施し、リスクが高いと評価された作業については、作業方法の見直しや設備改善を行い、リスクの軽減化を図っています。

訓練

- ・海上防災訓練
- ・総合消防訓練
- ・地震、津波防災訓練
- ・大津波避難訓練
- ・消防設備操作訓練
- ・硫酸漏洩訓練
- ・大雨対応訓練
- ・救急法訓練
- ・突発停電対応訓練

教育

- ・VR危険体感教育
- ・指差呼称
- ・KYT (危険予知訓練)
- ・リスクアセスメント
- ・熱中症予防教育
- ・転倒災害防止教育
- ・酸、アルカリ取り扱い教育
- ・粉じん教育
- ・防じんマスク
フィッティング講習会
- ・車両 (フォークリフト等) 運転教育
- ・危険物 / 有害物 (毒物・劇物)
取り扱い教育
- ・電気安全講習会

その他

- ・定期健診、生活習慣病予防健診、
特殊健診の実施と有所見者の
フォロー
- ・産業医パトロール
- ・産業医衛生講話
- ・作業環境測定
- ・AED (応急手当) 講習会
- ・受動喫煙防止活動
(禁煙・分煙の推進)
- ・メンタルヘルス対策、
ストレスチェック
- ・ハラスメント研修会
- ・職場リーダー研修会
- ・新型コロナウイルス感染防止対策

21 教育訓練などへの取り組み

2 安全への取り組み事例など紹介

突発停電対応訓練では従業員が主体的に作業手順を守るように過去の成功事例、失敗事例などを交えながら繰り返し教育しています。

また、VR危険体感教育を定期的実施することで、危険に対する感度を高め、各個人が指示がなくても必要な判断や行動がとれることを目指しています。



消防訓練

突発停電対応訓練を実施中



本社ハラスメント研修会



VR危険体感教育

22 地域社会への取り組み

1

東邦亜鉛グループは、地域社会に貢献するため、各事業所周辺のボランティア活動をはじめとする社会貢献活動を積極的に行っています。地域行事や清掃活動に参加することにより、地域の方々とのコミュニケーシ

ョンを図り、相互の信頼関係を深めています。今後においても従業員が社会貢献活動に積極的に参加する職場環境づくりに取り組んでいきます。



安政遠足
侍マラソン大会
への参加

小学生の
社会科見学

安中製錬所と契島製錬所では、小学生の工場見学を受け入れています。



事業所周辺の
清掃活動

環境保全活動の一環として、各事業所の従業員は森林整備や清掃などのボランティア活動に積極的に取り組んでいます。

大崎上島町に給水ポンプ用の発電機を寄贈

一昨年7月の西日本豪雨に伴い大崎上島町（広島県豊田郡）の生野島地区が長期にわたり停電・断水した結果、当社契島製錬所でも公共上水道の供給が停止し、操業に大きな影響を及ぼしました。

こうした天災がもたらすインフラ寸断への対応強化と

して、生野島給水ポンプ場に停電時自動に稼働する非常用発電機を設置し、大崎上島町に寄贈しました。今後とも、当社グループは地域の一員として、地域住民並びに行政の皆様と連携・協力して、地域社会との共存共栄に取り組んでまいります。



2020_{年度} ESG報告書

▶問合せ先

東邦亜鉛株式会社
環境・安全室

〒100-8207

東京都千代田区丸の内 一丁目8番2号
鉄鋼ビル

Tel: 03-6212-1713

Fax: 03-3284-1521

<http://www.toho-zinc.co.jp/>